

今回は・・・【サッポロビール株式会社 群馬工場】

の取組みを紹介します！



Team太田通信

Vol.5
発行日
2023.3.1

どんな事業をしていますか？

サッポロビール株式会社は、ビール・発泡酒・新ジャンル・ワイン・焼酎などの製造販売、洋酒の販売を行っており、ひとりひとりの心を動かす物語でお酒と人との未来を創る酒類ブランドカンパニーを目指しています。群馬工場には2つの事業所があり、尾島事業所は主に焼酎・リキュール類・原料用アルコールの製造工場、木崎事業所にはビールの原料となる麦芽、大麦原料の製造工場と、ビール大麦開発の原料開発研究所などがあります。

環境活動（クールチョイス）の取組み

サッポログループでは、サステナビリティ重点課題の一つとして、「環境調和」を定めており、「脱炭素社会の実現」（自社拠点・サプライチェーンにおけるCO2排出削減）、「循環型社会の実現」（循環型社会に対応した容器包装の実現、プラ資源のリデュース・リサイクル、廃棄物・食品ロス削減、水資源の保全）、「自然共生社会の実現」（気候変動に対応した原料育種他）を推進しています。群馬工場では、エネルギー使用、水使用に対して省エネアクションプランを設定してCO2排出削減、水使用量削減活動に取り組んでいます。

太陽光発電設備の導入

脱炭素化に向けた取り組みとして、再生可能エネルギー利用を拡大しています。2022年3月に尾島事業所においてサッポログループ初となるPPAサービスによる太陽光発電設備を導入しました。年間発電量627MWhの設備を導入し尾島事業所の約3割を賄う電力を発生、CO2排出量を年間約330t削減できる見込みです。

尾島事業所の太陽光発電設備



木崎事業所の原料開発研究所温室内での大麦栽培施設

大麦とホップの新種開発

サッポロビールでは、サステナビリティ方針に基づく環境対策への取り組みとして、原料開発研究所では、環境変化に強い大麦とホップの新品種開発を行っています。

脱炭素化に向けた取り組みとして、再生可能エネルギー利用の拡大、他社との共同配送によるCO2排出削減、段ボールやPET包装資材の削減、軽量化に取り組んでいます。

事業所・団体等による

COOL CHOICEの取組み

- ① クールビズ・ウォームビズの促進（室温設定調整による消費電力低減など）
- ② 省エネ機器への切替促進（LED照明の導入など）
- ③ 照明の効率的な利用（照度調整、ライトダウンなど）
- ④ 事業車両のエコドライブ推進やエコカーの導入
- ⑤ 業務上の移動等での公共交通機関の利用促進
- ⑥ その他

今後の展望は？

サッポログループは、2022年11月にサステナビリティ重点課題の全面的な見直しを発表しました。世界共通の喫緊の課題である「脱炭素社会の実現」は最注力課題のひとつに掲げており、その解決に向けた企業としての役割を強く認識し、SBT認証レベルでのCO2排出削減目標に取り組むこととしています。サッポログループは、サステナビリティ方針「大地と、ともに、原点から、笑顔づくりを。」のもとに、サステナビリティ重点課題に対する目標達成に向けて取り組みを進め、「持続可能な社会の実現」と「グループの持続的な成長」の両立を目指します。

チーム太田認定団体(順不同)

生活協同組合コープぐんまコープ 新井店	サッポロビール株式会社 群馬工場
市川建設株式会社	株式会社フセラシ 群馬工場
NPO法人新田環境みらいの会	サンノバ株式会社
リコージャパン株式会社 群馬支社	特定非営利活動法人 Way To The Dream
しげる工業株式会社	株式会社 シー・ビー・エス
株式会社ヨシオカ	イオンモール太田
株式会社オーアンドケー群馬工場	サカモト機材株式会社

※チーム太田認定団体(COOLCHOICEに賛同、推進していく事業者、団体)を随時募集しております。詳しくは太田市HPをご覧ください。

発行元

太田市役所 環境対策課
0276-47-1893
025600@mx.city.ota.gunma.jp